

# UNION PRESS

2011年3月 No. 2

埼玉大学教職員組合は、今回の大震災に関して、  
3月17日付けで以下の要望書を大学に提出いたしました。

\*\*\*\*\*

## 東北関東大震災への対応について（要望）

3月11日に発生した東北関東大震災は、未曾有の大災害となっています。失われたものへの悲しみの大きさゆえ立ち尽くしてしまいそうですが、それを乗り越え、残された人たち全てが元気を取り戻せるように、埼玉大学として何か出来るかを真剣に考え、速やかに実行していくことが肝要であると考えます。すでに本学では危機管理の観点から多くの対応がなされているかと存じますが、教職員組合では、組合員からの声をもとに以下の要望をまとめさせていただきました。十分に時間がとれないなか取りまとめたものですので、すでに検討・対応を終えているものや、制度への無理解にもとづく提案もあるかもしれませんが、その点はどうかご容赦ください。ご一考いただければ幸甚に存じます。

### 1. 学生関係

- ・すでに、入学手続きの柔軟化、後期試験の実質的中止、被災学生の確認、授業料免除申請の延期、など一定の迅速な対応をとっていただいておりますが、被災した学生（留学生、入学予定者、卒業予定者を含む、また他大学被災学生など）へのさらなる心理的ケアや経済的支援（授業料の減免、特別奨学金の貸与、など）をお願いいたします。

[こうした内容は大学HPにまとめて表示した方がいいと思います]

### 2. 教職員関係

- ・計画停電の実施により、職場での通常勤務が困難になるとともに、安定的な通勤手段の確保も難しくなっており、基本的な勤務環境が維持できておりません。また、一時的とはいえ、生活物資の購入にも問題が生じてきています。柔軟な勤務形態（勤務時間の短縮、フレックス・タイムの導入、担当部署によっては自宅待機、など）の特例的導入について、ぜひとも本格的な検討をお願いいたします。

- ・また、入学手続きや後期入試への対応に追われる現状のなかで、平成23年度の学年暦についても、開講時期の延期など特例的な対応を検討する必要があるように思います。

[被災地ではすでに4月中の休講を決定した大学もあります（東北大学、東北学院大学、 など）]

- ・現在はインフラの確保が急務となっている東北地方においても、この後復興が本格化してくれば多数のボランティアが必要となります。参加の意欲を持つ者は、埼玉大学教職員のなかにも多いと思われます。ボランティア参加の希望を持つ教職員が積極的に活動に参加できるように、ボランティア休暇の取得促進などもご考慮いただけますでしょうか。

### 3. 地域・社会関係

- ・節電への全学的協力[学内設置自動販売機の一部停止、構内使用電力の総量規制、など]
- ・義援金募集活動の積極的展開
- ・教職員が独自に行っている被災地支援活動のサポート  
(情報の集約、受付窓口の一本化、など)

\*\*\*\*\*

この他にも、様々なそして切実な要望があるかと思えます。  
随時集約し、大学に対して要望していきたいと思えますので、  
ぜひ組合までお寄せください。

発行元：埼玉大学教職員組合                      Tel&Fax 048-853-5609 (内 3160)  
E-mail:saikyoso@mail.saitama-u.ac.jp    URL: http://19.pro.tok2.com/~saidaikumiai/  
組合事務室は生協第二食堂内 月～金 (ただし水曜日は除く)、午後 12 時～5 時開室